

令和3年度 入学式 式辞

暖かい日が続き、ここ宮城にも例年になく早い桜の便りが届いています。本日、PTA副会長石森明子様をはじめとご来賓のご臨席を賜り、令和3年度入学式を挙行できますことを、我々一同喜びたいと思います。

ただいま入学を許可した160名の皆さん、君たちは晴れて石巻西高等学校への入学を認められました。おめでとうございます。そして、今日まで限りない愛情を注ぎ、お子様の成長を支えてこられた保護者の皆様に、心よりお祝いを申しあげます。なお、この式辞はホームページや学校便りに掲載いたします。参加がかなわなかった保護者の皆様にお伝え願います。

本校は1985年に全日制普通科の男女共学校として設立された高校です。自由な校風のもと地域に根ざした学校づくりを進めてまいりました。開校以来、人権や多様性の尊重を基盤とした国際理解教育に積極的に取り組み、東日本大震災以降は防災教育にも力を入れて参りました。令和元年度からは文部科学省「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」の指定を受け、地域を担う人材の育成にも取り組んでいます。

皆さんに本校のスローガンを紹介します、自由と創造。西高のイメージとして生徒があげる言葉は「自由」なのだそうです。ではなぜ西高では「自由」を生徒に授けているのか。ここで言う「自由」は好き勝手・自由気ままではありません。これからの高校生活で、そして社会で、皆さんはさまざまな課題に向き合うこととなります。学習・進路選択・部活動・人間関係…、皆さんはたくさんの答えのない問いを与えられます。その解決には、さまざまな体験を通して身に付けた知識を活用しながら、最も適切な答えを選択し行動する力が必要です。そして将来は、その力を用いてこれからの日本や世界を創造（クリエイト）してほしいと思っています。とはいえ、答えのない問いに向き合うのは簡単なことではありません。先生方も君たちの主体性を尊重し、丁寧に指導するのは始めのうちだけです。ですから小さな失敗は気にしないでほしい。他人に与えられた答えに従って行動するより、失敗から学ぶことの方が何倍も価値があります。

最後に本校の強みをお話しします。西高は中途退学者や不登校生徒がきわめて少ない学校です。生徒は学校を休みませんし、仲間作りを上手にやっています。西高は安心して通える学校です。これからも我々は西高を地域で一番魅力ある学校にするための努力を惜しみません。

保護者の皆様にはこれからも本校の教育活動にご理解ご協力をいただきますようお願い申しあげます。お子様方にとって高校で過ごす3年間は、将来社会で生きていくためにきわめて大切な時期となります。一方で、心身ともに成長する中で、さまざまな悩みや不安を抱く時期でもあります。生徒たちの豊かな個性をはぐくむとともに、生徒にとって安全で安心な環境を作るためにも、学校と家庭とがそれぞれの役割を果たしながら、ともにお子様の成長を支援できますよう、重ねてお願いを申しあげます。

新入生の皆さんにとって充実した高校生活が繰り広げられるであろうことを期待し、式辞といたします。

令和3年4月8日

宮城県石巻西高等学校

校長 菅野 定行